



大人のアクセサリー作家のための

基本資材ガイド

これさえあれば作れる！
迷わず揃えられるアクセサリー資材帖

受講生限定・無断転載禁止



La ♡ Porin

はじめに



アクセサリー作りで、最初に迷いやすいのが「資材選び」です。

9ピン、Tピン、丸カン、Cカン、チェーン、留め具。
名前は聞いたことがあっても、
どれを選べばいいのか、どのサイズを買えばいいのか、
最初は分かりにくいものです。

でも、資材選びは作品の土台です。
どんなに美しい花やビーズを使っても、
それを支える金具やパーツが合っていないければ、
作品全体の印象は大きく変わります。

このガイドでは、レッスンや制作でよく使う基本資材を、
初心者の方にも分かりやすくまとめました。

すべてを一度に完璧に揃えなくても大丈夫です。
まずは必要なものから少しずつ。
自分の制作に合う資材を知り、
少しずつ“作家の道具箱”を整えていきましょう。

資材選びは、作家としての美意識を育てる第一歩です。
小さな金具ひとつにも、作品の品格は表れます。

このガイドの使い方



このガイドでは、アクセサリー制作でよく使う資材を、以下の4つに分けて紹介しています。

1. 最重要資材ワイヤーについて

ワイヤーは単なる材料ではなく、作品の形・繊細さ・強度を決める大切な土台です。揃えておきたいワイヤーの種類と特徴をまとめました。

2. 最初に揃えておきたい基本資材

レッスンや基本制作でよく使う、まず知っておきたい資材です。9ピン、Tピン、丸カン、Cカン、チェーン、カニカンなど、アクセサリー作りの土台になるものをまとめています。

3. あると便利な資材

制作に慣れてきた時に、作品の幅を広げてくれる資材です。最初からすべて揃える必要はありません。作りたい作品に合わせて、少しずつ追加していきましょう。

4. 作品を格上げする資材

作品の印象をより上品に見せたり、販売作品としての完成度を高めたりするための資材です。

“ただ作れる”から“選ばれる作品”へ近づくために、少しずつ目を育てていきましょう。

最重要資材

ワイヤーについて①

ラポリンでおすすめる

マニキュアフラワー向きワイヤーの種類と特徴をまとめました。

● MIYUKI 30号ワイヤー

【線径】 0.3mm

【特徴】 細くて柔らかく、扱いやすいワイヤーです。

花びらの形を作りやすく、初心者から上級者まで使いやすい素材です。

繊細で軽やかな作品に仕上がる一方で、強度はやや弱め。

【向いている作品】

- ・スカシやシャワー台に編みつける作品
- ・複雑な立体作品
- ・繊細に仕上げたい作品
- ・軽やかさを出したい作品

● パーツクラブ 28号ワイヤー

【線径】 0.3mm

【特徴】 MIYUKIの30号ワイヤーと同じ0.3mmですが、

MIYUKIよりもハリがあり、少し硬めです。

そのため、やや扱いにくさがありますが、

繊細さを残しながらも強度を出しやすいワイヤーです。

【向いている作品】

- ・複雑な立体作品
- ・繊細さと強度の両方が必要な作品
- ・形をしっかり保ちたい作品
- ・少し大きめの花びらを作る作品

最重要資材 ワイヤーについて②

● パーツクラブ 26号ワイヤー

【線径】 0.4mm

【特徴】 28号よりさらに硬めで、

しっかりとした作品に仕上がる ワイヤーです。

線径が太い分、強度は出ますが、

作品によってはワイヤーの存在感が出やすくなります。

【向いている作品】

- ・基本のマニキュアフラワーをシンプルにアクセサリーに仕上げる時
- ・アクセサリーとして強度を出したい作品
- ・形をしっかり保ちたい作品



マニキュアフラワーの美しさは、花びらの形から始まります。

その花びらの形を支えているのが、ワイヤーです。

ワイヤー選が変わると、

作品の繊細さ、強度、立体感、仕上がりの印象も変わります。

最初は先生指定のワイヤーから使い始め、慣れてきたら、

作品に合わせて少しずつ使い分けていきましょう。

ワイヤーは、花の輪郭を描くための大切な線。

小さな違いを知ることが、美しい花を咲かせる第一歩です。

最初に揃えておきたい 基本資材①

ここには、アクセサリ制作の基本となる資材をまとめます。
まずはこのページの資材から揃えておくと、
多くの作品制作に対応しやすくなります。

● 9ピン

【用途】

ビーズやパーツをつなぐ時に使う基本金具です。
両端に輪を作ることで、パーツ同士を連結できます。

【最初に揃えるなら】

0.6mm×25mm～30mm

ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。



● Tピン

【用途】

ビーズやパーツの先端を留める時に使います。
揺れるパーツや、先端にビーズを下げたい時に便利です。

【最初に揃えるなら】

0.6mm×25mm～30mm

ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。

ビーズ穴よりピンの頭が小さいと、
ビーズが抜けてしまうことがあります。
穴の大きいビーズには注意しましょう。



最初に揃えておきたい 基本資材②

● 丸カン

【用途】

パーツ同士をつなぐための基本金具です。
チャーム、チェーン、留め具などをつなぐ時に使います。

【最初に揃えるなら】

0.5mm×4mm、0.6mm×4mm
ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。



● Cカン

【用途】

丸カンと同様にパーツ同士をつなぐ際に使用しますが、
特に「パーツの抜けを防ぎたい箇所」に適しています。

【最初に揃えるなら】

0.5mm×2.5mm×3.5mm、0.6mm×3mm×4mm
ゴールド系・シルバー系をそれぞれ1袋ずつ。



● チェーン

【用途】

ネックレス、ブレスレット、
カットして揺れるイヤークセサリーなどに使
作品全体の印象を大きく左右する資材です。

【最初に揃えるなら】

細めで上品に見えるチェーンを、
ゴールド系・シルバー系で揃えるのがおすすめ



最初に揃えておきたい 基本資材③

イヤリング金具・ピアス金具

アクセサリ制作でよく使うのが、
イヤリング金具・ピアス金具です。

同じ花パーツでも、どの金具を選ぶかによって、
仕上がりの印象や使いやすさが変わります。

作品のデザインだけでなく、身につける方の耳元で美しく見える
か、重さに耐えられるか、使いやすいかも考えて選びましょう。



● カン付きタイプ

【用途】

金具に小さな輪がついているタイプです。
丸カンやCカンを使って、花パーツやビーズ、
チェーンなどをつなげることができます。

【向いている作品】

- ・揺れるイヤリング、ピアス
- ・ビーズやチャームを下げるデザイン
- ・チェーンを使ったデザイン
- ・軽やかに動きのある作品



● 貼り付けタイプ

【用途】

金具の平らな部分に、
パーツを接着して使うタイプです。

【向いている作品】

- ・ 耳たぶにぴったり添うデザイン
- ・ 小さめの花パーツ
- ・ カボションやパールを使った作品
- ・ 揺れない上品なイヤークセサリー



● シャワー台タイプ

【用途】

穴のあいた台座に、テグスやワイヤーで
ビーズやパーツを留めつけて使うタイプです。
立体感やボリュームのある作品に向いています。

【向いている作品】

- ・ 耳たぶにぴったり添うデザイン
- ・ ビーズをたくさん使う華やかなデザイン
- ・ 花を複数組み合わせる作品
- ・ ブローチのような存在感を出したい作品

【注意点】

シャワー台の大きさによって、仕上がりのボリュームが
変わります。パーツを付けすぎると重くなりやすいので、
耳元につけた時に負担がないか、左右の重さが揃っているかも
確認しましょう。



● フック式ピアス

【用途】

耳に引っかけて使う、フック型のピアス金具です。
カン部分に丸カンやCカンでパーツをつないで使います。

【向いている作品】

- ・揺れるピアス
- ・軽やかなデザイン
- ・チェーンやビーズを下げる作品
- ・縦ラインを美しく見せたい作品

【注意点】

フック式は外れやすい場合があるため、
必要に応じてシリコンキャッチを合わせると安心です。
販売作品にする場合は、キャッチを付ける配慮も大切です。



イヤリング金具やピアス金具は、
ただ「つけられる」だけで選ぶのではなく、
作品の美しさと使いやすさを支える大切な資材であることを
意識して選んでください。

イヤークセサリーは顔まわりの印象を大きく変えます。
金具選びにも丁寧に目を向けて、大人の女性に似合う
上品で美しい仕上がりを目指しましょう。

金属アレルギー 対応素材について



イヤリング金具・ピアス金具を選ぶ時に、
ぜひ知っておきたいのが「素材」です。

特にピアスは肌に直接触れる時間が長く、
ピアスホールにも触れるため、
素材選びがととても大切になります。

金属アレルギーがある方や、肌が敏感な方には、
一般的に以下のような素材が選ばれることがあります。

金属アレルギー対応素材は、
安心してアクセサリーを楽しむための大切な選択肢です。
けれど、
「この素材なら絶対に大丈夫」と言い切ることはできません。
体質には個人差があり、同じ素材でも
合う方・合わない方がいます。

販売作品に使う場合は、素材名をできるだけ正確に記載し、
「金属アレルギー対応素材を使用していますが、すべての方に
アレルギーが起きないことを保証するものではありません」
という一文を添えると安心です。

金属アレルギー 対応素材①



● 14kgf・ゴールドフィルド

【特徴】

14kgfは、真鍮などの芯材に14金の層を圧着した素材です。一般的な金メッキよりも金の層が厚いため、上品な輝きが長く楽しめる素材として人気があります。

【向いている作品】

- ・上品なゴールド系アクセサリー
- ・大人向けのイヤリング、ピアス
- ・販売作品
- ・高級感を出したい作品

【選ぶ時のポイント】

見た目に高級感があり、ラポリン作品にも合わせやすい素材です。

【注意点】

すべての方にアレルギーが出ないわけではありません。

また、切断面や接合部分などで芯材が触れる可能性がある場合もあります。

「金属アレルギー対応」と書く場合でも、必ず注意書きを添えると安心です。

金属アレルギー

対応素材②



● サージカルステンレス

【特徴】

サージカルステンレスは、医療用器具にも使われることがあるステンレス素材です。

特に316Lと呼ばれる種類は、アクセサリー金具でもよく使われています。

汗や水に強く、変色しにくい素材として知られています。

【向いている作品】

- ・ 普段使いのアクセサリー
- ・ 販売作品
- ・ 変色しにくさを重視したい作品
- ・ 金属アレルギーが心配な方向けの選択肢

【選ぶ時のポイント】

素材表記に「サージカルステンレス」「316L」などと書かれているか確認しましょう。

【注意点】

ステンレスには少量のニッケルが含まれる場合があります。

また、表面にメッキやカラーコーティングがされているものは、コーティングがはがれた時に肌に合わなくなる場合があります。

購入時は、素材表記と加工内容をよく確認しましょう。

金属アレルギー 対応素材③



● チタン

【特徴】

チタンは、軽くて丈夫な素材です。
金属アレルギーが心配な方に選ばれることが多い素材の一つです。
ピアス金具としても人気があり、
肌に直接触れるポスト部分に使われることがあります。

【向いている作品】

- ・ ピアス金具
- ・ 軽さを出したい作品
- ・ 肌への負担を少なくしたい作品
- ・ デイリー用アクセサリー

【選ぶ時のポイント】

「チタンポスト」「純チタン」と書かれていても、
すべてのパーツがチタンとは限りません。
ポスト部分だけがチタンで、キャッチや皿部分は別素材の場合も
あります。
販売作品では、どの部分がチタンなのかを明記すると親切です。

あると便利な資材①



ここに載せている資材は、
最初からすべて揃える必要はありません。
制作に慣れてきたら、
作りたい作品やデザインに合わせて、
少しずつ追加していきましょう。

● カニカン&アジャスター

【用途】

カニカンはネックレスやブレスレットの
留め具として使います。
アジャスターネックレスやブレスレットの
長さを調整するために使います。



【選ぶ時のポイント】

小さすぎず、開閉しやすいサイズ。
ゴールド系・シルバー系を用意しておくとう便利です。

● 座金

【用途】

ビーズやパールの上に添えて、
装飾性を高めるパーツです。
マニキュアフラワーの花芯としても使います。



【選ぶ時のポイント】

使い方によって、作品がクラシカルにも華やかにもなります。
花芯としては4mm～6mmが使いやすいです。

あると便利な資材②



● キャップ

【用途】

ビーズやパールの上下にかぶせるように使う装飾パーツです。

ビーズの穴まわりをきれいに見せたり、パールや大きめビーズに華やかさを添えたり、作品全体を少しクラシカルで上品な印象に仕上げたい時に使います。

マニキュアフラワーのがくとして使うと完成度が上がります。



【選ぶ時のポイント】

キャップは、ビーズやパールのサイズに合ったものを選ぶことが大切です。

キャップが大きすぎると、ビーズを覆いすぎて重たい印象になります。

小さすぎると、装飾として目立たず、バランスが取りにくくなります。

また、キャップのデザインによって作品の雰囲気が変わります。

繊細な透かし模様のキャップは、上品で軽やかな印象に。

厚みのある華やかなキャップは、存在感のある印象に。

シンプルなキャップは、作品全体をすっきりまとめてくれます。

作品を格上げする資材



作品が少しずつ作れるようになってきたら、次に意識したいのは「作品の品格」です。同じデザインでも、使う資材の質や色味によって、仕上がりの印象は大きく変わります。“作れる作品”から“選ばれる作品”へ近づくために、少しずつ資材を見る目も育てていきましょう。

● 上質に見えるチェーン

チェーンは、作品全体の印象を左右します。花やビーズが美しくても、チェーンが安っぽいと、作品全体の印象まで下がってしまいます。細さ、色味、輝き方、肌なじみを見ながら、作品の世界観に合うものを選びましょう。

● パール

【用途】

マニキュアフラワーと組み合わせると上品さが増します。ピンワークをして組み合わせたり、花芯として貼り付けて使います。

【選ぶ時のポイント】

3mm、4mm、5mmパールはいろいろな作品に使えて本当に便利ですので、ぜひ揃えて下さい。コットンパールも軽くてイヤークセサリーにオススメです。6～8mmが使いやすいです。

買う時に気をつけること



作品が少しずつ作れるようになってきたら、次に意識したいのは「作品の品格」です。同じデザインでも、使う資材の質や色味によって、仕上がりの印象は大きく変わります。“作れる作品”から“選ばれる作品”へ近づくために、少しずつ資材を見る目も育てていきましょう。

1. 色味を揃える

同じ「ゴールド」でも、黄色みが強いもの、赤みがあるもの、淡いものなど、色味には違いがあります。作品の中で金具の色がばらつくと、仕上がりがまとまりにくくなります。できるだけ同じショップ、同じシリーズで揃えると安心です。

2. サイズを写真だけで判断しない

ネットショップの写真は実物より大きく見えることがあります。9ピン、Tピン、丸カン、チェーン、カニカンなどは、必ずサイズ表記を確認しましょう。

3. 安すぎる資材には注意する

安価な資材の中には、変色しやすいもの、歪みやすいもの、メッキが粗いものが含まれることがあります。練習用として使う場合はよいですが、販売作品や大切な作品には、品質も意識して選びましょう。

避けたい資材



資材選びでは、
「何を買うか」だけでなく、「何を避けるか」も大切です。

以下のような資材は、
作品の印象を下げてしまうことがあります。

- ・メッキが粗く、色ムラが目立つ金具
- ・黄色みが強すぎて安っぽく見えるゴールド金具
- ・すぐに歪んでしまう細すぎる9ピン、Tピン
- ・バリが目立つ丸カン、Cカン
- ・軽すぎてチープに見えるチェーン
- ・花やビーズより主張が強すぎるパーツ
- ・作品全体の色味と合わない金具

資材は、作品を支える脇役です。
でも、その脇役が整っているからこそ、
花やビーズの美しさが引き立ちます。

小さな資材まで丁寧に選ぶことが、
作品の完成度を高める大切な一歩です。

購入チェックリスト



必要なものから、少しずつ揃えていきましょう。
一度に全部買わなくても大丈夫です。

基本資材

- ワイヤー
- 9ピン
- Tピン
- 丸カン
- Cカン
- チェーン
- イヤリング金具
- ピアス金具

あると便利な資材

- カニカン
- アジャスター
- 座金
- メタルパーツ
- ビーズキャップ

作品を格上げする資材

- 上質に見えるチェーン
- 淡水パール
- ガラスビーズ
- 天然石
- 変色しにくい金具
- 肌なじみのよい金具
- 作品の世界観に合う装飾パーツ

最後に



アクセサリー作りは、
マニキュアフラワーやビーズを
美しく組み合わせるだけではありません。

それを支える金具やチェーン、留め具の選び方にも、
作り手の美意識が表れます。

最初は、資材の名前を覚えるだけでも大変かもしれませんが。
でも、ひとつずつ知っていくことで、
「これは何に使うものか」
「この作品にはどの金具が合うか」
「もっと美しく仕上げるには何を選べばいいか」

が少しずつ分かるようになります。
焦らなくて大丈夫です。
あなたの作品づくりに必要な道具箱を、
少しずつ整えていきましょう。
そしていつか、
小さな金具ひとつにもこだわりながら、
自分の想いと美意識を宿した
“あなたにしか咲かせられない花のジュエリー”を
生み出していただけますように。